

## 国への2度の陳情、経済産業省への報告

令和2年11月19日  
日本バンケット事業協同組合

### 原理事長からコロナ対策の近況報告

全国的にコロナ感染が拡大している中、主催者やホテル自体が感染を怖れる余り受注を躊躇する等、立食パーティーは皆無であり、我々業界にとっては大変厳しい現状が続いています。

そのような窮地を少しでも打開するため、サービスクリエイター協会に音頭をとって頂き、10月26日に五団体（全国宴会支配人協議会・公益社団法人日本ブライダル文化振興協会・一般社団法人全国サービスクリエイター協会・特定非営利活動法人全国ホテル&レストラン人材協会・日本バンケット事業協同組合）の代表が要望書を下村政調会長、二階幹事長に提出しました。

その後、橋渡しをしてくださった逢沢衆院議員に呼ばれ、より詳細な五団体の現状を説明するため11月12日に再度陳情に伺いました。

三原じゅん子議員や佐藤ゆかり議員を交えて2時間半説明をさせて頂きました。

議員の方々の話からも、このコロナ禍では宴会、パーティーの開催は望めないことを改めて実感しました。

そのうえで、バンケット事業協同組合からの要望として、個人事業主の持続化給付金100万円、事業主の持続化給付金200万円、家賃補助、雇用助成金の延長など、第3次補正予算の中でお願いしました。

また、11月16日には経済産業省へ理事長、齋藤専務理事、勝又顧問の3名で五団体の要望書を持参、三浦サービス産業室長と面会し、1時間ほど現状の報告をしました。

今後も各方面への働きかけに努めて参りますが、この先の見えないコロナ禍でのバンケット事業の存続や組合活動へのご理解とご協力を、組合員各社にお願い致します。